

質問者



藤岡 緑 議員

Q

「ふるさと納税」の成果と今後の取り組みは

A

集まった256万円も含めて大事に使います

問

出身地など任意の自治体に寄付する「ふるさと納税」の制度導入から一年経過して、現在の集計結果と今後の寄付者の希望に沿うた使途につき町の今後の取り組みは。

答

白石町長

「ふるさと納税」とは納税者の郷里に対する強い思いに込めるもので、5千円を超える額が控除され寄付者の思いをまちづくりの繁栄させていく制度です。

平成20年7月開始より現在までで19人の方々から256万円のご寄付を頂いています。

使途については保健医療、福祉の施策に100万円のほか、生活環境教育、文化振興、町長の選任委員などの要望がでていきます。これらの意向を踏まえ施策の財源とし、どんな事業がいいか検討しています。

今後の取り組みとして

はホームページにふるさと納税専用サイトを開設し県内外で広報活動を行っていきます。更に宣伝以上ふるさと松前町を応援したいと思える人々を増やすことが理想であり、魅力あるまちづくりで自主的納税に結びつくよう進めていきます。

問

大型商業施設オープン後一年の総括と今後について

エミフル開店後当初の懸念事項は解消されたか、また今後の町としての対応は。

答

地域に悪い影響を及ぼさないように十分注目していきます

栗田副町長

昨年四月にオープンしたエミフルM.A.S.A.K.Iは、その規模の大きさから国道、周辺道路等の渋滞混雑などが心配されたい交通整理員の適切な配置や誘導等により、イベント時でも大きな渋滞も

なかったようです。



いろんな便利、エミフルに集合

問

増える高齢者の交通事故について

町としての対策は。

答

交通関係団体と連携し事故抑止に努めます

高橋保険福祉部長

昨年の県内における65歳以上の高齢者の交通事故件数は全体の32%を占め特に事故による死亡者は82人中58人と極めて高い割合となっています。町内でも一人犠牲者が出ています。

そのため伊予警察署や伊予交通安全協会と連携を図りながら、特に高齢者の交通安全対策として地区公民館での交通安全講演や運転疑似体験車による安全運転体験の学習会などを開催、周知して

います。また今年度町内で実施予定の「子供、高齢者自転車愛媛県大会」で安全な自転車運転の周知も図っていきます。更に関係団体と協力して町内の65歳以上の全家

庭を訪し交通マナーの指導、グッズの配布を行う高齢者世帯安全・安心訪問事業なども始めます。また道路標識の設置をする際にも、高齢者にわかりやすいような工夫を要望していきます。今後、高齢者の交通安全意識の高揚を図りつつ町民一人一人が高齢者を思いやる環境づくりを推進し、交通事故の抑止に努めていきます。



緊張するな～大会は

●その他の質問

*裁判員制度と法教育について

*レジ袋有料化の動きについて